

みどり 《適塾》

大阪大学のルーツとしての「適塾」文化と「みどり」テクノロジーの融合

第3回 デザイン思考勉強会 (2017/4/21)

植物のゲノム編集について共に学ぶ

生物を起点とした『みどり』テクノロジーによるオープン・イノベーションを実現する



「植物などの生物由来の科学的知識を、社会の問題解決に実装するために具体化する方法」

みどり《適塾》では、ホタルよりも100倍以上明るく光る化学発光タンパク質をはじめとした植物活用テクノロジーの実践を共に考える議論を2016年9月16日にスタートしました。

第3回目となる今回のデザイン思考勉強会では、前回の遺伝子組み換え体を持つ様々な「社会的な誤解」に関する話題提供と議論に引き続く形で、「植物のゲノム編集」をテーマとした話題提供と議論を皆様と行いたいと思っております。

社会の様々な方々(企業やみどりテクノロジーに興味を持たれる方々)・自治体との連携によるオープン・イノベーションを実現するため、本会の趣旨にご賛同をいただける皆様のご参加と、協働ができることを心よりご期待申し上げます。

日時：2017年4月21日(金) 13:10～
場所：大阪大学中之島センター 講義室 405 (〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-53)
参加費：3,000円
(「企業および大学関係者ではない一般市民の方」および「学生」は500円)

13:10～13:30 概要説明：前回のサマリーならびに今回の狙い
永井 健治 塾頭 (大阪大学 産業科学研究所 教授)
13:30～14:30 話題提供「植物のゲノム編集とその現状について」
話題提供者：村中俊哉 先生 (大阪大学大学院工学研究科 教授)
14:30～14:45 休憩
14:45～15:45 質疑応答および総合討論
15:45～16:15 次回に向けた課題整理
16:15～16:30 写真撮影
17:00～ 付近のエリアで交流会

<主催> みどり《適塾》会 (<http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/RAIS/business/b2/b2-2/midori.html>)
<協賛> ゲノム編集学会・大阪大学フロンティア産業バイオ国際研究拠点
<協力> 大阪大学産業科学研究所・(一財)大阪大学産業科学研究協会・(一社)テラプロジェクト
(一社)地域創生連携活動コンソーシアム

申し込み先：みどり《適塾》会事務局 加藤久明 (大阪大学産業科学研究所 産学連携室 特任助教)
(E-mail: hisaaki@sanken.osaka-u.ac.jp FAX: 06-6879-8448)